

◆「歩いて楽しいまち」の紹介



地名「^{やなせ}築瀬」の語源は、川魚を捕る^{やな}築の意と考えられています。名張川のアユは有名であり、古代には神宮に供られたので、^{くごがわ}供御川の別名もあります。このアユを捕るために名張川は古来から築が設けられ、^{やな}築瀬はその拠点となった地に付けられたものと考えられています。

1636 年、藤堂高吉が、名張の城下町建設に取りかかっています。中央台地に領主藤堂家邸を配置し、その下を流れる川を「^{じょうげがわ}城下川」と名付け、外堀の機能を与えており、名張の水田の唯一の灌漑用水として、^{やなせ}築瀬水路が誕生しました。

今では、この^{やなせ}築瀬水路の水音を聞きながらの散策がとても楽しいまちとなっています。

「歩いて楽しいまち」につながる取組

◆公共サイン(まちなか案内板・誘導板)の整備 (平成19年度実施)



名張駅西口付近



名張藤堂家邸跡付近



城下川沿い



名張市旧細川邸やなせ宿



江戸川乱歩生誕地碑付近



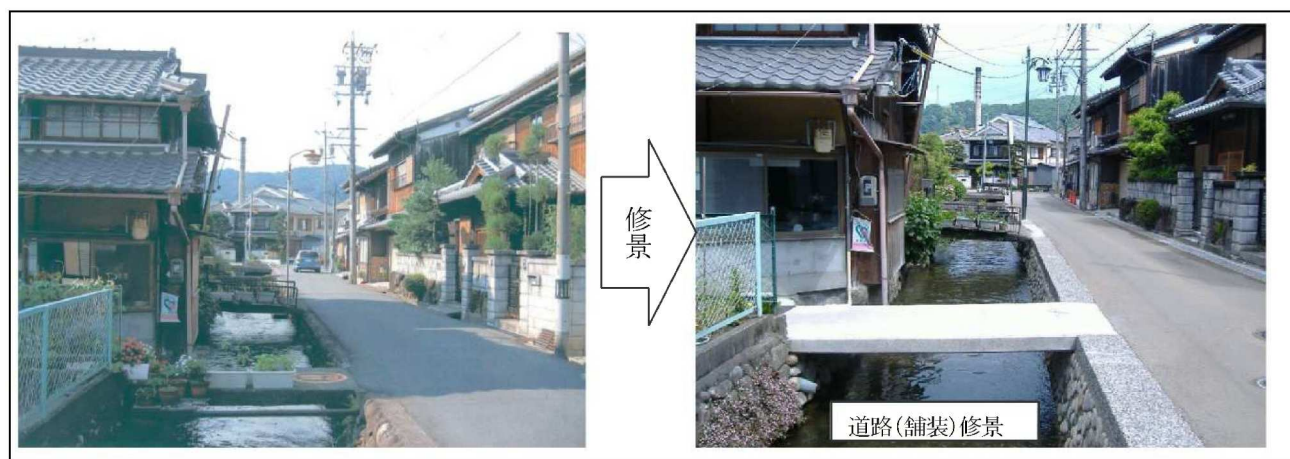
名張市旧細川邸やなせ宿



◆太鼓門散策道整備（平成20年度実施）



◆城下川沿い道路修景整備（平成20年度実施）



◆乱歩生誕地広場竣工 リーフレットの作成(平成20年度作成)

乱歩と名張「生誕地碑の建立」

昭和 27 年の帰郷がきっかけになって、名張では江戸川乱歩生誕地碑の建立が企画されました。有志が浄財を募り、乱歩と相談しながら準備を進めました。かつて乱歩の生家があったところに、高さ約 1.9 メートルの石碑が建てられ、「江戸川乱歩生誕地」という文字のほか、乱歩の書いた「幻影城」「うつし世はゆめ よるの夢こそまこと」という言葉が刻まれました。除幕式は昭和 30 年 11 月 3 日、乱歩夫妻の臨席のもと、盛大に催されました。乱歩は講演会や座談会も行い、香落溪などの観光名所にも足を運んで、名張をあとにしました。

乱歩生誕地碑広場 竣工

広場全体

江戸川乱歩生誕地碑

乱歩に関するサイン

広場入口

乱歩生誕地碑広場などの紹介

